

200400984A

厚生労働科学研究費補助金
医療技術評価総合研究事業

ケースミックス、医療原価測定を用いた医療パフォーマンスの
評価に関する研究

平成16年度 総括研究報告書

主任研究者 佐々 英達

平成17(2005)年3月

厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）

総括研究報告書

ケースミックス、医療原価測定を用いた医療パフォーマンスの評価に関する研究

主任研究者 佐々 英達 社団法人 全日本病院協会 会長

研究要旨

医療パフォーマンス測定に不可欠なケースミックス概念について整理を行った。約 50 病院の参加により診療アウトカム評価事業を利用して、代表的な 25 疾患について、病院別、重症度別の医療費を明らかにした。世界最大規模のアウトカム評価事業を実施しているメリーランド病院協会との国際共同研究の実施について、合意に達し、プロトコールの作成を行った。

A. 研究目的

ケースミックスを用いた医療パフォーマンスの評価・効率的な資源配分方法について国内外の状況を取りまとめ、標準的医療原価測定法の開発、および検証を行う。また、科学的知見に基づいた病院種別、政策医療などの医療機能、連携のあり方についての検討を行う。

B. 研究方法

(1) ケースミックスの基本的概念、開発状況、対象範囲、利用の状況などについて、米国、豪を対象に事例研究により明らかにした。米国メリーランド州病院協会が実施している QIP(Quality Indicator Project) と日本の診療アウトカム評価事業の方法について検討し、共同研究を前提とした打合せを実施した。(2) 医療原価測定法の開発：DPC 参加病院数箇所を対象に、DPC に基づいて、①代表的に数疾患を対象に、

②配賦方式を今中班のマニュアルを基に粒度を変えた場合の結果の変動について感度分析を実施すべく、プロトコールの検討を実施した。(3) ケースミックス別の医療内容調査：2002 年より東京都病院協会が実施している診療アウトカム評価事業に、全日病として参加し、参加病院、データ数の大幅な増加をもたらした。約 50 病院の参加の下に、代表的な 25 疾患で入院した患者について、医療内容、医療費用（請求金額）の調査を実施した。調査内容は、①病院の部門別費用、②当該疾患で入院した患者についての属性、医療内容、予後、診療報酬など、である。(4) 専門家パネルによる検討：ケースミックスに基づいた病院種別の分類、個別病院の医療パフォーマンス評価、医療の類型化（不採算医療・政策医療の区分など）、医療連携のあり方と評価、診療報酬と医療原価の対比、などを行ない、将来の医療提供体制のあり方についての提言を

行った。これは、病院のあり方に関する報告書 2004 年版としてとりまとめて公表した。

C. 研究結果

本年度研究では、(1) 急性期・慢性期医療のそれぞれについて現在国際的に用いられているケースミックスの考え方、内容を明らかにして、日本で用いるケースミックスのあり方について検討を行った。(2) ケースミックスを用いた病院の医療パフォーマンスの測定を行った。(3) 医療原価測定について標準的な手法の開発、有効性の検証についてプロトコルの作成を行った。(4) ケースミックス、医療パフォーマンス、費用の概念に基づき、①病院種別、②不採算医療・政策医療、③連携の評価、④その他、について今後の医療提供体制について明らかにした。

D. 考察

患者の重症度などを考慮したケースミックス分類は、医療のパフォーマンスを測定するにおいて不可欠である。急性期では、一連のDRG分類がその代表的なものである。患者重症度を特に考慮したDRG分類（AR-DRG, IR-DRGなど）では、いずれも主傷病名に加えて、合併症、並存症を重視している。主傷病名の重症度に、明示的な合併症・並存症の存在により重症度を補正する考え方とっており、重症度とともに標準的な在院日数も明らかにされ

ている。また、これらを可能にするインフラとして、合併症・並存症についての、いわゆる副コードまでICDに基づいて行われていることに留意する必要がある。日本ではDPCが用いられているが、今後DPCの改定を行うにあたっては、諸外国の知見を参考に、重症度に影響を与える明示的な合併症・並存症を明らかにすることを検討すべきであろう。慢性期医療では、RUGが代表的なものであるが、主傷病名に加えて、ADL、認知症を重視している。現在、慢性期医療の診療報酬支払いにおいては、重症度が変わらず一律の支払いが行われており、これを医療、ADLに基づいた支払いにすべく検討が行われている。これは望ましい方向として歓迎されるが、あわせてコストについての実態調査に基づいた診療報酬が設定される必要があり、それについての調査手法の開発、実態の把握が重要である。

多数の病院が参加し、一定の臨床指標に基づいてデータを提供して行うアウトカム評価は、医療の質を保証し、改善を図るにあたってきわめて重要である。本研究では、全日本病院協会、東京都病院協会の協力により、約50病院が参加し、年間30000人以上の患者データを継続的に収集する事業モデルが構築された。来年度は、メリーランド病院協会の同モデルとの比較検討を実施する予定である。

現在行われているDPCでは、施設係数の算出のために詳細なデータ提出が不可欠であり、これがDPCを新たに実施しよう

とする医療機関の障壁となっている。また施設係数自体も、DPC導入時には医療機関の収入の激変緩和の効果があり、円滑なDPC導入に寄与したと思われるが、すでにDPCを導入した病院においては、ある年に努力して在院日数を短縮し、コストを下げた場合には、翌年には施設係数の引き下げをもたらす、かえって自分の首を絞めることになる。このため医療機関の在院日数、コスト引き下げのインセンティブをかえって低下させることになっている。施設の収入ではなく、カテゴリー（一定の係数に加えて、教育、立地、人員配置などによる加算）に基づいた係数への移行を検討すべきであろう。本研究では、今中班の開発した手法を参考にし、8病院の参加協力の下に、2種類の原価測定法を用いて、医療原価の測定を実施中である。これにより、簡便な手法を用いた場合の、精度・信頼性の範囲を明らかにすることが可能であり、原価に基づく医療パフォーマンス測定および評価が可能になることが期待される。これについては来年度も引き続き解析を行う予定である。

E. 結論

疾患名・処置名、患者の属性、重症度などを考慮した患者構造を表すケースミックスは、医療システムを科学的に評価する上で不可欠の概念である。医療機能を科学的に測定し、そのあり方を示すことは、医療および医療政策の透明性を高め、社会に対する説明責任を果たすことに寄与すること

が期待される。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

診療アウトカム評価事業
2004年度 年間報告書
(全参加病院)

東京都病院協会

(診療情報管理委員会)

全日本病院協会

(医療の質向上委員会)

診療アウトカム評価事業2004年度報告書

< 目次 >

1. 主な指標について	2
結果の見方についての説明	2
集計表	4
2. 各指標の詳細分析	11
2-1. 退院患者	11
結果の見方についての説明	11
集計表	12
2-2. 平均在院日数	17
結果の見方についての説明	17
集計表	18
2-3. 死亡退院率	23
結果の見方についての説明	23
集計表	24
2-4. 予定しない再入院率	29
結果の見方についての説明	29
集計表	30
2-5. 入院後発症感染症	35
結果の見方についての説明	35
集計表	36
2-6. 転倒・転落	37
結果の見方についての説明	37
集計表	38
2-7. 抑制	40
結果の見方についての説明	40
集計表	41

1. 主な指標について

以下の指標について、2004年度中に退院した患者のデータを四半期ごと(2004年4月～6月、2004年7月～9月、2004年10月～12月、2005年1月～3月)および年度全体で集計しています。本調査の対象となる24疾患を直接の原因として入院した患者を対象とします。

【対象となる24疾患】

1	胃の悪性新生物	13	正常分娩
2	結腸の悪性新生物	14	急性虫垂炎
3	気管支および肺の悪性新生物	15	胆石症
4	急性心筋梗塞	16	前立腺肥大症
5	肺炎	17	白内障
6	喘息	18	痔核
7	脳梗塞	19	子宮筋腫
8	脳出血	20	狭心症
9	糖尿病	21	腎結石及び尿管結石
10	大腿骨頸部骨折	22	乳房の悪性新生物
11	胃潰瘍	23	膝関節症
12	急性腸炎	24	そけいヘルニア

(1) 退院患者数

対象期間中に退院した患者の人数を疾患ごとに集計

(2) 平均年齢

対象期間中に退院した患者の平均年齢を疾患ごとに集計

(3) 退院患者の男性割合

対象期間中に退院した患者の男性の割合を疾患ごとに集計

(4) 平均在院日数

対象期間中に退院した患者の平均在院日数を疾患ごとに集計

(5) 合併症ありの割合

対象期間中に退院した患者のうち、入院期間中に合併症があった患者の割合を疾患ごとに集計

(6) 死亡退院率

対象期間中に退院した患者のうち、死亡が原因で退院となった患者の割合を疾患ごとに集計

(7)平均医療点数

対象期間中に退院した患者の平均医療点数を疾患ごとに集計(医療費データの入力がない患者については、集計対象から除外)

【集計表を見る上での注意】

○集計病院数

	2004年			2005年
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
都病協	15	16	15	11
全日病	—	29	27	27
2協会合計	15	45	42	38

退院患者数

(単位:人)

	2004年 4-6月	2004年 7-9月	2004年 10-12月	2005年 1-3月	2004年度	前年度
胃の悪性新生物	159	410	302	243	1,114	383
結腸の悪性新生物	67	266	211	162	706	222
気管支および 肺の悪性新生物	159	416	253	226	1,054	413
急性心筋梗塞	111	266	227	186	790	327
肺炎	498	1,075	1,143	1,257	3,973	1,457
喘息	139	301	403	220	1,063	434
脳梗塞	297	1,023	794	733	2,847	1,238
脳出血	160	371	282	309	1,122	628
糖尿病	184	495	391	393	1,463	603
大腿骨頸部骨折	153	331	313	334	1,131	552
胃潰瘍	92	218	190	122	622	242
急性腸炎	213	610	458	527	1,808	535
正常分娩	160	638	405	350	1,553	1,138
急性虫垂炎	91	385	261	179	916	286
胆石症	119	475	404	324	1,322	625
前立腺肥大症	30	106	108	100	344	124
白内障	242	574	388	330	1,534	766
痔核	9	58	50	41	158	47
子宮筋腫	49	117	71	68	305	199
狭心症	309	1,578	1,367	1,111	4,365	838
腎結石及び尿管結石	131	756	427	343	1,657	361
乳房の悪性新生物	58	145	110	112	425	140
膝関節症	30	56	51	33	170	82
そけいヘルニア	107	374	272	233	986	359
全疾患合計	3,567	11,044	8,881	7,936	31,428	11,999

平均年齢

(単位:歳)

	2004年 4-6月	2004年 7-9月	2004年 10-12月	2005年 1-3月	2004年度	前年度
胃の悪性新生物	69.3	69.5	69.0	68.8	69.2	68.2
結腸の悪性新生物	70.6	68.6	70.4	68.5	69.3	70.1
気管支および 肺の悪性新生物	68.6	70.8	70.6	70.5	70.4	69.4
急性心筋梗塞	69.4	68.8	69.6	68.7	69.1	69.9
肺炎	56.8	66.5	58.4	65.9	62.8	61.1
喘息	32.7	33.6	27.8	46.3	33.9	34.4
脳梗塞	73.5	71.8	73.2	74.2	73.0	73.7
脳出血	69.0	66.1	65.6	67.7	66.8	67.5
糖尿病	62.6	61.7	63.3	62.8	62.5	63.4
大腿骨頸部骨折	80.6	78.5	80.5	83.7	80.9	78.1
胃潰瘍	65.2	64.2	61.8	66.2	64.0	64.8
急性腸炎	23.5	41.1	34.6	33.0	35.0	33.1
正常分娩	29.2	29.2	29.1	29.8	29.3	29.3
急性虫垂炎	31.3	35.4	32.4	35.1	34.1	34.0
胆石症	62.8	61.2	61.7	62.9	61.9	60.8
前立腺肥大症	77.1	71.3	73.4	71.4	72.5	71.7
白内障	74.5	74.5	75.8	74.0	74.7	73.7
痔核	54.0	52.6	57.5	56.3	55.2	59.7
子宮筋腫	41.3	42.5	41.2	42.6	42.0	43.7
狭心症	68.5	67.8	68.5	67.5	68.0	66.8
腎結石及び尿管結石	52.0	51.3	52.1	52.7	51.8	52.0
乳房の悪性新生物	60.5	61.3	60.8	59.5	60.6	61.2
膝関節症	74.9	73.9	75.0	71.5	73.9	73.2
そけいヘルニア	48.2	55.6	56.6	57.9	55.6	50.4
全疾患合計	59.3	60.6	59.9	62.0	60.6	59.2

男性割合

(単位:%)

	2004年 4-6月	2004年 7-9月	2004年 10-12月	2005年 1-3月	2004年度	前年度
胃の悪性新生物	68.6%	65.6%	68.2%	70.0%	67.7%	62.9%
結腸の悪性新生物	61.2%	50.8%	53.6%	58.6%	54.4%	57.7%
気管支および 肺の悪性新生物	61.6%	66.6%	72.3%	72.6%	68.5%	68.0%
急性心筋梗塞	65.8%	69.2%	67.0%	69.9%	68.2%	67.6%
肺炎	52.4%	57.0%	54.2%	56.0%	55.3%	55.0%
喘息	51.1%	49.8%	55.3%	43.6%	50.8%	46.5%
脳梗塞	53.9%	59.9%	57.9%	58.3%	58.3%	56.6%
脳出血	55.0%	50.4%	51.8%	51.8%	51.8%	48.6%
糖尿病	57.6%	56.8%	56.5%	57.3%	56.9%	56.7%
大腿骨頭部骨折	22.2%	23.0%	19.2%	19.2%	20.7%	21.7%
胃潰瘍	58.7%	65.1%	74.7%	61.5%	66.4%	60.3%
急性腸炎	49.3%	47.7%	45.9%	46.5%	47.1%	45.6%
正常分娩	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
急性虫垂炎	58.2%	53.5%	53.6%	57.5%	54.8%	57.0%
胆石症	43.7%	48.4%	48.3%	51.9%	48.8%	46.2%
前立腺肥大症	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
白内障	31.0%	38.0%	37.9%	36.7%	36.6%	38.5%
痔核	55.6%	65.5%	52.0%	61.0%	59.5%	53.2%
子宮筋腫	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
狭心症	58.3%	64.1%	66.9%	68.6%	65.7%	68.4%
腎結石及び尿管結石	66.4%	68.3%	71.9%	72.0%	69.8%	65.1%
乳房の悪性新生物	0.0%	0.7%	0.9%	1.8%	0.9%	0.0%
膝関節症	6.7%	23.2%	19.6%	24.2%	19.4%	22.0%
そけいヘルニア	85.0%	85.8%	84.9%	88.4%	86.1%	83.0%
全疾患合計	49.8%	53.2%	54.2%	54.1%	53.3%	47.9%

平均在院日数

(単位:日)

	2004年 4-6月	2004年 7-9月	2004年 10-12月	2005年 1-3月	2004年度	前年度
胃の悪性新生物	29.7	29.3	32.4	29.7	30.3	28.5
結腸の悪性新生物	26.0	28.5	29.5	27.0	28.2	29.2
気管支および 肺の悪性新生物	32.0	28.1	32.0	33.6	30.8	35.0
急性心筋梗塞	18.1	21.7	21.4	20.9	20.9	19.4
肺炎	19.1	22.8	18.6	17.2	19.4	19.4
喘息	10.5	10.5	8.8	10.1	9.8	10.0
脳梗塞	33.7	34.5	37.3	34.2	35.1	38.1
脳出血	38.2	55.4	46.4	39.2	46.2	42.7
糖尿病	20.9	19.7	22.8	25.1	22.1	21.0
大腿骨頸部骨折	51.1	45.5	43.1	43.0	44.8	45.9
胃潰瘍	17.5	20.5	15.1	15.9	17.5	17.8
急性腸炎	6.0	7.1	6.5	7.3	6.9	6.7
正常分娩	6.5	6.9	6.8	7.0	6.9	6.7
急性虫垂炎	8.5	8.0	8.5	8.2	8.2	8.9
胆石症	15.8	15.5	15.1	15.7	15.4	18.2
前立腺肥大症	14.0	11.8	13.4	12.9	12.8	14.4
白内障	5.4	5.3	5.2	4.8	5.2	5.8
痔核	6.1	6.4	9.5	6.2	7.3	6.9
子宮筋腫	11.7	11.8	11.2	11.5	11.6	11.7
狭心症	9.0	7.4	6.9	6.5	7.1	9.2
腎結石及び尿管結石	6.6	5.4	8.8	5.9	6.5	6.3
乳房の悪性新生物	15.6	18.1	14.7	15.1	16.1	20.2
膝関節症	29.2	31.7	31.3	33.7	31.5	34.0
そけいヘルニア	4.7	6.5	6.6	6.0	6.2	6.8
全疾患合計	18.8	17.9	17.9	17.7	17.9	19.9

合併症あり割合

(単位:%)

	2004年 4-6月	2004年 7-9月	2004年 10-12月	2005年 1-3月	2004年度	前年度
胃の悪性新生物	15.7%	23.2%	20.9%	21.4%	21.1%	23.2%
結腸の悪性新生物	19.4%	23.3%	21.8%	24.1%	22.7%	25.7%
気管支および 肺の悪性新生物	13.8%	24.0%	12.3%	16.4%	18.0%	32.7%
急性心筋梗塞	32.4%	28.2%	32.2%	16.7%	27.2%	21.7%
肺炎	19.1%	22.6%	19.9%	19.6%	20.4%	21.7%
喘息	14.4%	14.6%	13.2%	10.9%	13.3%	13.4%
脳梗塞	15.2%	33.0%	39.3%	34.7%	33.3%	22.9%
脳出血	26.9%	32.6%	42.6%	27.2%	32.8%	24.2%
糖尿病	16.8%	31.3%	30.7%	24.2%	27.4%	14.1%
大腿骨頸部骨折	9.8%	19.9%	16.9%	20.1%	17.8%	8.3%
胃潰瘍	16.3%	25.2%	15.8%	12.3%	18.5%	13.2%
急性腸炎	4.7%	10.0%	12.4%	9.7%	9.9%	9.9%
正常分娩	23.1%	26.2%	38.8%	36.9%	31.6%	1.9%
急性虫垂炎	9.9%	7.8%	10.0%	6.1%	8.3%	9.8%
胆石症	10.1%	14.5%	13.9%	11.4%	13.2%	10.9%
前立腺肥大症	6.7%	7.5%	4.6%	3.0%	5.2%	12.1%
白内障	8.7%	9.6%	3.9%	4.8%	7.0%	10.8%
痔核	0.0%	13.8%	8.0%	9.8%	10.1%	6.4%
子宮筋腫	14.3%	15.4%	16.9%	17.6%	16.1%	4.5%
狭心症	23.3%	16.6%	22.1%	13.1%	17.9%	22.6%
腎結石及び尿管結石	4.6%	4.9%	4.0%	2.9%	4.2%	6.4%
乳房の悪性新生物	6.9%	9.7%	4.5%	9.8%	8.0%	13.6%
膝関節症	3.3%	16.1%	23.5%	27.3%	18.2%	15.9%
そけいヘルニア	5.6%	5.3%	4.4%	1.7%	4.3%	4.5%
全疾患合計	15.3%	19.1%	20.4%	17.5%	18.6%	15.6%

死亡退院率

(単位:%)

	2004年 4-6月	2004年 7-9月	2004年 10-12月	2005年 1-3月	2004年度	前年度
胃の悪性新生物	15.7%	18.0%	16.9%	16.5%	17.1%	12.0%
結腸の悪性新生物	7.5%	14.3%	6.6%	11.7%	10.8%	7.2%
気管支および 肺の悪性新生物	23.3%	20.2%	21.3%	27.4%	22.5%	21.8%
急性心筋梗塞	15.3%	12.0%	11.5%	14.5%	12.9%	14.1%
肺炎	10.4%	14.2%	11.4%	12.6%	12.4%	12.6%
喘息	0.0%	0.7%	0.0%	0.5%	0.3%	0.7%
脳梗塞	8.4%	4.3%	6.4%	9.0%	6.5%	6.1%
脳出血	25.6%	17.8%	20.9%	19.1%	20.1%	20.7%
糖尿病	1.1%	0.8%	1.3%	0.8%	1.0%	0.8%
大腿骨頸部骨折	4.6%	3.6%	1.3%	1.8%	2.6%	0.5%
胃潰瘍	1.1%	1.4%	1.6%	2.5%	1.6%	2.5%
急性腸炎	0.0%	0.3%	0.4%	0.2%	0.3%	0.2%
正常分娩	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
急性虫垂炎	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	0.3%	0.0%
胆石症	0.8%	0.8%	0.5%	0.9%	0.8%	0.2%
前立腺肥大症	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
白内障	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
痔核	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子宮筋腫	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
狭心症	0.0%	0.4%	0.3%	0.5%	0.4%	0.6%
腎結石及び尿管結石	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%
乳房の悪性新生物	3.4%	6.9%	5.5%	8.0%	6.4%	6.4%
膝関節症	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
そけいヘルニア	0.9%	0.0%	0.0%	0.4%	0.2%	0.0%
全疾患合計	6.1%	4.8%	4.6%	5.9%	5.2%	5.2%

平均医療点数

(単位:点)

	2004年 4-6月	2004年 7-9月	2004年 10-12月	2005年 1-3月	2004年度	前年度
胃の悪性新生物	115,964	106,906	133,657	117,782	117,836	121,353
結腸の悪性新生物	121,980	115,566	121,093	111,185	116,814	117,680
気管支および 肺の悪性新生物	100,564	96,710	98,933	108,995	100,467	110,256
急性心筋梗塞	193,209	233,991	241,476	219,827	227,077	217,814
肺炎	51,319	67,260	55,343	50,730	56,600	53,068
喘息	29,188	30,728	26,921	28,467	28,618	29,893
脳梗塞	100,711	112,546	113,834	111,191	111,354	116,207
脳出血	158,413	184,081	174,786	159,552	171,233	155,963
糖尿病	49,213	48,963	65,318	70,977	59,333	50,460
大腿骨頭部骨折	139,472	172,849	179,710	165,334	168,459	145,896
胃潰瘍	55,254	56,798	50,983	52,518	53,932	62,586
急性腸炎	17,028	20,352	19,789	22,145	20,342	20,585
正常分娩	19,464	34,564	28,552	21,491	28,279	30,167
急性虫垂炎	48,781	41,088	40,041	42,423	41,809	52,058
胆石症	70,017	74,671	73,505	74,778	73,922	78,200
前立腺肥大症	55,106	47,299	53,322	52,115	51,242	53,000
白内障	32,801	31,997	31,108	28,033	31,046	34,973
痔核	22,871	24,887	32,671	22,138	26,567	27,324
子宮筋腫	56,376	59,155	57,441	56,413	57,699	55,485
狭心症	101,856	98,261	105,901	99,960	101,342	112,480
腎結石及び尿管結石	29,942	29,898	36,780	30,916	31,883	32,191
乳房の悪性新生物	72,915	76,281	74,339	67,744	73,069	81,682
膝関節症	191,157	166,036	183,249	141,875	170,943	163,073
そけいヘルニア	26,172	29,640	29,614	27,369	28,721	27,786
全疾患合計	74,327	78,334	81,143	77,248	78,409	78,457
1日当り医療点数 (全疾患合計)	3,997	4,372	4,561	4,365	4,381	3,945

※1日当り医療点数(全疾患合計)＝平均医療点数(全疾患合計)／平均在院日数(全疾患合計)

2. 各指標の詳細分析

2-1. 退院患者

2004年度中に退院した患者の人数を四半期ごと(2004年4月～6月、2004年7月～9月、2004年10月～12月、2005年1月～3月)および年度全体で集計しています。

本調査の対象となる24疾患を直接の原因として入院した患者を対象とします。

(1)退院患者数

対象期間中に退院した患者の人数を疾患・重症度ごとに集計

(2)退院患者数(手術あり)

対象期間中に退院した患者のうち、入院期間中に手術を受けた人の人数を疾患・重症度ごとに集計

※手術を目的とした入院が比較的多いと思われる疾患に限る。

【集計表を見る上での注意】

○重症度の入力がなかったデータについては(未入力)にまとめて集計しております。

○重症度の入力があるものの既定の区分のいずれに属するか判別できない場合は(既定外表示)にまとめて集計しております。

○集計病院数

	2004年			2005年
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
都病協	15	16	15	11
全日病	—	29	27	27
2協会合計	15	45	42	38

退院患者数

主傷病別・重症度別の退院患者数

(単位:人)

	2004年 4-6月	2004年 7-9月	2004年 10-12月	2005年 1-3月	2004年度	前年度
胃の悪性新生物						
ステージⅠ	44	113	99	73	329	144
ステージⅡ	18	57	42	21	138	42
ステージⅢ	31	46	39	44	160	56
ステージⅣ	58	183	108	93	442	109
(未入力)	8	11	14	12	45	32
計	159	410	302	243	1,114	383
結腸の悪性新生物						
ステージⅠ	12	63	61	31	167	47
ステージⅡ	14	71	54	45	184	47
ステージⅢ	20	51	45	44	160	46
ステージⅣ	14	68	42	42	166	48
(未入力)	7	13	9	0	29	34
計	67	266	211	162	706	222
気管支および肺の悪性新生物						
ステージⅠ	11	51	40	31	133	54
ステージⅡ	10	48	12	9	79	42
ステージⅢ	28	94	59	60	241	94
ステージⅣ	104	214	135	122	575	200
(未入力)	6	9	7	4	26	23
計	159	416	253	226	1,054	413
急性心筋梗塞						
KillipⅠ	54	142	101	114	411	192
KillipⅡ	13	53	49	35	150	42
KillipⅢ	7	25	14	17	63	7
KillipⅣ	5	32	28	20	85	15
(未入力)	32	14	35	0	81	71
計	111	266	227	186	790	327
肺炎						
軽症	142	401	424	492	1,459	514
中等症	238	467	506	571	1,782	547
重症	49	178	168	188	583	135
(未入力)	69	27	45	6	147	261
(既定外表示)	0	2	0	0	2	0
計	498	1,075	1,143	1,257	3,973	1,457
喘息						
軽症間欠型	50	114	128	86	378	129
軽症持続型	18	65	88	58	229	88
中等症持続型	33	72	146	56	307	59
重症持続型	9	35	30	20	94	24
(未入力)	29	15	11	0	55	134
計	139	301	403	220	1,063	434

	2004年 4-6月	2004年 7-9月	2004年 10-12月	2005年 1-3月	2004年度	前年度
脳梗塞						
JCS 0-1	165	732	564	489	1,950	675
JCS 2-3	59	158	118	143	478	263
JCS 10-100	31	90	73	71	265	92
JCS 200-300	13	23	19	29	84	35
(未入力)	29	20	20	1	70	173
計	297	1,023	794	733	2,847	1,238
脳出血						
JCS 0-1	47	167	116	140	470	203
JCS 2-3	25	63	53	60	201	132
JCS 10-100	28	80	51	56	215	120
JCS 200-300	42	50	53	52	197	106
(未入力)	18	11	9	1	39	67
計	160	371	282	309	1,122	628
糖尿病						
軽症	71	295	205	220	791	199
中等症	51	146	137	135	469	175
重症	24	25	30	35	114	116
(未入力)	38	29	19	3	89	113
計	184	495	391	393	1,463	603
大腿骨頸部骨折						
重症度Ⅰ	55	144	133	145	477	162
重症度Ⅱ	40	61	59	68	228	99
重症度Ⅲ	20	76	83	104	283	93
重症度Ⅳ	3	40	26	17	86	29
(未入力)	35	10	12	0	57	169
計	153	331	313	334	1,131	552
胃潰瘍						
ショックなし	76	187	153	102	518	168
ショックあり	5	28	30	19	82	32
(未入力)	11	3	7	1	22	42
計	92	218	190	122	622	242
急性腸炎						
血便なし	190	538	426	486	1,640	432
血便あり	11	64	26	38	139	32
(未入力)	12	8	6	3	29	71
計	213	610	458	527	1,808	535
正常分娩						
重症度指標なし	160	638	405	350	1,553	1,138
計	160	638	405	350	1,553	1,138
急性虫垂炎						
白血球15000/mm3未満	61	297	182	126	666	186
白血球15000/mm3以上	9	77	68	53	207	53
(未入力)	21	11	11	0	43	47
計	91	385	261	179	916	286
胆石症						
黄疸なし	94	405	355	286	1,140	511
黄疸あり	9	59	27	37	132	49
(未入力)	16	11	22	1	50	65
計	119	475	404	324	1,322	625

	2004年 4-6月	2004年 7-9月	2004年 10-12月	2005年 1-3月	2004年度	前年度
前立腺肥大症						
前立腺容量20ml未満	8	14	18	23	63	32
前立腺容量50ml未満	13	55	60	50	178	41
前立腺容量50ml以上	7	36	29	27	99	34
(未入力)	2	1	1	0	4	15
(既定外表示)	0	0	0	0	0	2
計	30	106	108	100	344	124
白内障						
1眼	101	424	251	271	1,047	342
2眼	80	110	81	58	329	244
(未入力)	61	40	56	1	158	180
計	242	574	388	330	1,534	766
痔核						
第一度(出血のみ)	2	11	14	15	42	15
第二度(還納可能)	3	15	9	7	34	8
第三度(脱肛)	2	32	26	19	79	10
(未入力)	2	0	1	0	3	14
計	9	58	50	41	158	47
子宮筋腫						
貧血なし(Hb10g/dl以上)	37	87	60	58	242	153
貧血あり(Hb10g/dl未満)	10	30	11	10	61	39
(未入力)	2	0	0	0	2	7
計	49	117	71	68	305	199
狭心症						
重症度指標なし	309	1,578	1,367	1,111	4,365	838
計	309	1,578	1,367	1,111	4,365	838
腎結石及び尿管結石						
水腎・水尿管なし	52	330	186	160	728	144
水腎・水尿管あり	64	413	240	182	899	161
(未入力)	15	13	1	1	30	56
計	131	756	427	343	1,657	361
乳房の悪性新生物						
ステージⅠ	20	51	34	30	135	45
ステージⅡA	21	34	23	17	95	39
ステージⅡB	1	11	14	15	41	12
ステージⅢA	2	7	3	8	20	12
ステージⅢB	6	10	9	5	30	5
ステージⅣ	6	26	26	37	95	20
(未入力)	2	6	1	0	9	4
(既定外表示)	0	0	0	0	0	3
計	58	145	110	112	425	140
膝関節症						
骨移植なし	29	53	47	31	160	68
骨移植あり	0	3	4	2	9	0
(未入力)	1	0	0	0	1	14
計	30	56	51	33	170	82
そけいヘルニア						
重症度指標なし	107	374	272	233	986	359
計	107	374	272	233	986	359
全疾患合計	3,567	11,044	8,881	7,936	31,428	11,999

退院患者数(手術あり)

主傷病別・重症度別の退院患者数

(単位:人)

	2004年 4-6月	2004年 7-9月	2004年 10-12月	2005年 1-3月	2004年度	前年度
胃の悪性新生物						
ステージⅠ	30	87	81	59	257	93
ステージⅡ	16	35	33	11	95	34
ステージⅢ	18	21	27	26	92	39
ステージⅣ	10	42	28	25	105	39
(未入力)	6	2	5	1	14	18
計	80	187	174	122	563	223
結腸の悪性新生物						
ステージⅠ	10	48	51	27	136	30
ステージⅡ	14	53	45	32	144	40
ステージⅢ	16	43	37	35	131	38
ステージⅣ	7	28	20	16	71	27
(未入力)	2	4	6	0	12	18
計	49	176	159	110	494	153
気管支および肺の悪性新生物						
ステージⅠ	5	18	16	13	52	29
ステージⅡ	5	10	2	4	21	18
ステージⅢ	4	11	5	7	27	15
ステージⅣ	0	10	4	2	16	6
(未入力)	3	0	0	0	3	5
計	17	49	27	26	119	73
脳出血						
JCS 0-1	12	34	27	30	103	40
JCS 2-3	2	22	8	17	49	31
JCS 10-100	11	49	21	21	102	44
JCS 200-300	13	16	21	17	67	31
(未入力)	3	2	0	0	5	14
計	41	123	77	85	326	160
大腿骨頸部骨折						
重症度Ⅰ	47	112	118	127	404	129
重症度Ⅱ	30	49	50	54	183	76
重症度Ⅲ	14	58	73	82	227	38
重症度Ⅳ	2	28	21	12	63	6
(未入力)	29	8	9	0	46	134
計	122	255	271	275	923	383
急性虫垂炎						
白血球15000/mm ³ 未満	49	216	132	100	497	140
白血球15000/mm ³ 以上	5	57	54	42	158	43
(未入力)	14	10	9	0	33	36
計	68	283	195	142	688	219
胆石症						
黄疸なし	58	299	270	228	855	372
黄疸あり	3	45	21	26	95	35
(未入力)	14	9	18	1	42	47
計	75	353	309	255	992	454